

食の安全安心セミナー（仙台会場）アンケート結果

セミナー参加者：150名、回答者：110名

- ①性別 男性：56名 女性：54名
- ②年齢 ～19歳：0名 20歳代：6名 30歳代：12名 40歳代：23名
50歳代：22名 60歳代：20名 70歳代～：26名（*無回答：1名）
- ③職業 消費者（団体含む）：38名 食品関連事業者：18名 生産者（団体含む）：6名
行政関係者：32名 報道関係者：0名 その他：13名（*無回答：3名）
- ④ セミナー開催の把握方法（*複数選択している方がいるため、合計数は一致しない。）
- 1) ホームページ
消費者庁：3名 食品安全委員会：4名 厚生労働省：1名 農林水産省：3名 宮城県：13名
 - 2) メールマガジン
食品安全委員会：4名 農林水産省：1名 その他：0名
 - 3) 所属団体からの連絡：21名
 - 4) 知人からの紹介：0名
 - 5) 宮城県からの連絡：60名
 - 6) その他：2名（*無回答：1名）

問 説明内容について理解することはできましたか。

できた：20名 ほぼできた：67名 あまりできなかった：17名 できなかった：2名
（*無回答：4名）

十分に理解することができなかった理由

- ・講師が早口でありマイクが反響したため、十分に聞き取れず理解できなかった。
- ・先に結論ありきの非論理的説明であり、理解（納得）できなかった。
- ・現実と理論の関係がよく分からない。たとえば、理論的な食の安全は現実的にどう具現化されているのか、そこが最大の問題であり知りたいところだが、どうもそこが明確ではないように感じた。
- ・話の内容が難しく良く分からなかった。
- ・消費者側の視点に立ち、もっと掘り下げた内容にして欲しかった。
- ・聞き手に理解してもらおう意思が感じられず、消費者の立場を考え、もっと分かりやすく発表して欲しかった。
- ・講師の話している内容が聞き取りづらかった。
- ・具体例を提示して説明いただけると良かった。
- ・食品の基準値の設定については、科学的知見に基づいた国際的な指標に沿っているとのことだが、そもそも「コーデックス委員会の指標」がどう科学的なのか良く分からなかったのも、コーデックス委員会が根拠にした部分も解説して欲しかった。
- ・専門用語が多く内容が良く理解できなかった。

- ・年間1ミリシーベルトになるには、一体どの位のベクレルになのか日常生活での関連を含めて説明して頂きたかった。
- ・現状は安全ということなのだろうが、未だに原発が制御されていない中、安心できる人がどれ位いるのだろうか。たとえアカデミックに話し合われていると言われても、チェルノブイリが除かれていては、信じることはできない。
また、流通食品が安全だと信じきれなくても食べるしかないところだが、首都圏の未検査の野菜より、福島の野菜の方が安全なのかもしれないと思いつつも、やはり納得は出来ない。
今後子供達の健康調査を長期間続け、50年後、80年後に、本当に現状の食が安全だったのか検証して欲しい。
- ・セミナーというより報告会のように感じた。震災後から現在までの全体的な流れを記したレジメが必要だと思った。
- ・大丈夫と強調しすぎるところにあやしさを感じた。セシウム以外の放射性物質濃度と土壌カリウムとの関係が不明であった。
- ・意見交換会の質疑を聞いていたら、説明された内容が理解できたとは思えなくなった。
- ・内容じたいは難しかったが、十分検査しているということが分かり安心して食べることができると感じた。
- ・長期間を考慮してセシウムの基準値等を決めていることは理解したが、流通する食品の半分以上が基準値以上の放射性物質が含まれていた場合どうなるのか。また、ただちに健康への影響はないとのことだが、いつから影響があるのか示して欲しかった。

問 意見交換の内容について、理解することができましたか。

できた：10名 ほぼできた：45名 あまりできなかった：19名 できなかった：1名
(*無回答：35名)

あまりできなかった、できなかった理由

- ・数字をみて安心だからと押し付けられているように感じた。検査結果をもっと教えて欲しかった。
- ・質問者の質問時間が長く、回答も分かりにくい部分があった。
- ・質問、回答とも内容が掴めなかった。
- ・農地の反転耕について、ゴボウや長芋など地中深いものは除染できているのか心配である。
- ・質問者へきちんとした回答がなされたようには思えなかった。
- ・検査していない魚のストロンチウム90の結果を発表していることに疑問を感じた。魚に関してきちんとしたデータを公表して欲しいと感じた。
- ・説明資料をみて納得していたが、質問者のレベルが高く違った物の見かたもあるのかと思った。もう元に戻ることは出来ないのだから、今後も放射性物質と付き合いしていくしかないのだと思った。
- ・質疑応答の内容が難しくよく分からなかった。
- ・会場からの発言はかなり偏った意見が多く、丁寧に説明した内容を踏まえておらず、独自の論理展開であり、内容的には明確に否定すべきものと感じた。
- ・自分の考えを主張したい人ばかり質問しており、サッパリ役に立たない。難しいかもしれないが、自己主張の発言は途中で止めるべきだと思う。

問 全体の構成（内容・時間配分）はいかがでしたか。

大変良かった：2名 良かった：68名 あまり良くなかった：22名 良くなかった：3名
（*無回答：15名）

あまり良くなかった，良くなかった理由

- ・講演や意見交換の内容に対して，時間が不足していた。
- ・セミナーを開催するためのセミナーであり，目的がはっきりしていないように感じた。
- ・時間が足りないのもう少し全体の枠を取って欲しい。
- ・時間が短く半端な発表で終わった感がある。質疑応答の時間をもっと長くして欲しい。
- ・説明が早く資料を追うことで精いっぱいであり，内容が盛り込まれすぎているように感じた。
- ・質問者の質問時間が長すぎ，もっとたくさんの人の声を聞きたかった。
- ・時間が短く各分野とも駆け足の説明であった。
- ・意見交換の時間をもっと長くして欲しい。
- ・専門的な質疑に時間が割かれ，質問する時間がなかった。
- ・この時間配分のなか，4人から発表をすること自体に無理があったのではないか。質疑の時間も不十分であった。
- ・BSEの時間は別にした方がよかったように感じた。
- ・時間配分は良かったが，内容として納得できるものではなかった。国からの説明内容は分かったが根本のデータがどういうものなのか詳細な説明がなく多少の不信感・不安感が残った。
- ・一つ一つの内容をもっと深く掘り下げて話を聞きたかった。

問 セミナーに参加する前と後で，食品中の放射性物質対策について考え方は変わりましたか。

変わった：10名 少し変わった：37名 あまり変わらない：31名 変わらない：20名
（*無回答：12名）

変わった，少し変わった理由

- ・今まで以上に食について関心が持てたような気がする。
- ・予想以上に宮城県が汚染されていたことを知った。線量測定に対し県はとても消極的だったが，当時好ましくない食品を口にしていたのだなと思った。
- ・経過を詳しく説明されたことによって，放射性物質濃度が徐々に下がっていることがよく理解できた。放射性物質が降ったと言われても本当かという思いがあったが，少し安心して三陸物を食卓に上らせようと思う。
- ・基準値や検査体制がしっかりしていることが分かり市場に出回っているものは，安全であることを確信した。
- ・数字のマジックで安全だと消費者に植えつけているように感じた。
- ・質疑応答を聞き色々な考え方があるものだなと思った。
- ・平成23年度に比べ，平成24，25年度ではかなり検出レベルの高い食品が減っていることが分かった。ただ，県内の食品では山菜や魚がまだ心配である。
- ・意見交換の内容が参考になった。
- ・真剣に理解したいと思いながら講演や資料をみたので，理解が深まったような気がする。

- ・全量全袋検査や除染方法などについて理解できた。
- ・安全を強調されていたが、本当に信用できるのか自分で検討する必要があると思った。
- ・現場での対応や基準値を決めた理由などを聞いて勉強になった。
- ・多くの検査を経て食品が流通し消費者が食べていることが分かった。
- ・基準値に対する考え方、数値のとらえ方などもっと深くみないといけないと思った。

問 セミナー全体について良かった点、改善すべき点について教えてください。

良かった点

- ・現在の状況が良く分かった。
- ・資料が見やすく良かった。
- ・意見交換が勉強になった。
- ・講師の方々が分かりやすく伝わるよう心がけており良かった。。
- ・要点の説明が簡略化されており、分かりやすかった。
- ・関係省庁の方から直接説明を聴けたのが良かった。
- ・講師が質問へ誠意を持って対応しており好感が持てた。
- ・意見交換の場があり、いろいろな立場の考えがあることが分かった。
- ・震災以降どのような取り組みをしているのか細かく説明して頂き勉強になった。
- ・セシウムやシーベルトの意味が良く分かった。
- ・国、県それぞれの対応について個々に説明を聞くことができ良かった。これからも各省庁の方の話
を聞く機会を作って欲しい。
- ・初めてセミナーに参加したが、テレビや新聞などでは知り得ないことが聞けてとても良かった。
- ・国の説明は十分裏付けがあり、説得力があった。
- ・消費者、参加者の安全に対する強い意識を感じる事が出来た。
- ・現状をよくまとめてあり、安心感が持てた。

改善すべき点

- ・内容が盛りだくさんで駆け足だったことから、もう少しゆっくり進めてもらいたかった。
- ・見れば分かる資料は、説明を省略してもよいのではないかと感じた。
- ・折角の機会なので、もう少し時間を長く取って欲しかった。
- ・マイクの声が反響し聞き取りづらかった。
- ・意見、質問の時間をもっと取って欲しかった。
- ・誰が見ても分かる資料を作成してもらいたかった。
- ・放射線については難しいかもしれないが、専門用語はなるべく避けて欲しい。
- ・セミナーの開催についてもっと広く告知を行うべきである。
- ・休憩が短かったので集中して聞きたかった。
- ・農林水産現場の方々の生の声を聞いてみたかった。また、事前質問の多かった内容については、回答を配布して欲しかった。
- ・内容をもう少し分かりやすく簡単に説明して欲しい。
- ・例えば学者の方をオブザーバーに入れるなどして、一部の偏った意見を否定するなど、質問に名を

借りた怪しげな論理の押し売りにならないような運営が必要ではないかと感じた。

- ・開催時期は農繁期を避けて欲しい。
- ・生産現場における対応については、県内の事例を中心にすべきである。
- ・反対意見の方の質問時間が長すぎる。
- ・講演の最後に講師一人ずつ質問を受け付け回答するなどした方が、会場とのコミュニケーションが深まるのではないかと感じた。

問 その他（セミナーの運営、今後の食品に関するリスクコミュニケーションで希望するテーマ）について教えてください。

意見

- ・放射線による健康影響評価には、まだ未知の部分が多いように感じている。
- ・セミナーはいい企画だと思うので、今後も継続して実施して欲しい。
- ・現行の対策やデータは参考になったが、今後の取組内容について聞けると良かった。
- ・最近マスコミ等において、食品表示に関する問題が大きく取り上げられているが、食品表示に関する Q&A を作成して欲しい。
- ・資料はカラーで印刷して欲しい。
- ・各市町村に寄せられた問い合わせ内容や対応方法などの事例集があるとよい。
- ・放射性物質については今後も経過報告が必要だと思う。また、検査結果等はホームページに公開されているとのことだが、高齢者が必要な情報を入手することは難しいので、他の手段による方法も検討すべきではないか。
- ・林産物は未だ高い値が検出されているにも関わらず、低減対策が不十分ではないかと感じている。
- ・放射性物質について過剰に心配しすぎる人は、誰が何といても自分の考え方を改めようと思わないと思う。正しい知識を受け入れようと思わない人は、今回のセミナーのような場で、現在の基準値などについて批判し、ガス抜きすることで満足しているように感じた。

希望するテーマ

- ・食品添加物について
- ・鶏や豚の生食の危険性について
- ・O157について
- ・農薬の危険性について
- ・輸入食品の安全性や検査体制について
- ・食品中の放射性物質について

以上